

# 令和6年度 学校評価報告書

丹波篠山市立西紀北小学校

校長 堀 香 織

## 1 学校教育目標等

ふるさとに夢や誇りを持ち 未来の創り手となる北っ子の育成  
 ～ 自ら考え 伝え合って学びを深める子を育む ～

## 2 今年度の重点目標

○自分の考えを持ち、それを堂々と発表できる児童となるよう、また、他者の意見を聞いて自分の学びを深めるよう、すべての学校教育活動の中で取組を進める。

(市重点研究 資質・能力向上研究指定校2年次)

重点取組 ・「北っ子式算数」の深化 ・遠隔授業

## 3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学習指導	基礎・基本の定着	A	授業がわかりやすいと回答した児童は96%、また学んだことが定着していると回答した児童は96%である。市の重点研究(資質・能力向上研究指定校)で取り組んだ成果として、自分の考えを発表したり、分からないことをおたずねしたりしながら主体的・対話的に学ぶ姿やその学びを深めていく姿が見られるようになっている。
	学習形態・指導方法の工夫改善	A	児童は友だちの意見を聞く姿勢が身につけている(100%)。また授業で分からないときは先生や友だちにおたずねができていた児童が96%である。進んで発表する姿勢もかなり見られるようになっている。次年度以降も教員の共通理解の下で北っ子式算数等の取り組みを継続して、児童の学力向上に努めてほしい。
	学びの発信・コミュニケーション力の向上	A	2月実施の学習発表会の様子や、全校朝会等で自分の考えや思いを恥ずかしがらず発表できる児童が増えた。また、発表が褒められた、認められたことで自尊感情が高まったのか、苦手なことや困難なことにもあきらめずに取り組む児童が増えた(96%)。
生徒指導	基本的な生活習慣の定着	B	あいさつは100%の児童がよくできていると回答した。基本的な生活習慣も概ね良好であるが、唯一の課題がゲームの時間が長く就寝時刻が遅い児童がいることである。保健朝会でデジタルデトックスについての講話をしたところ、実践する家庭も増えてきている。今後も親子共々効果的な啓発を模索していく。
	児童理解と組織的な対応 外部関係機関との連携	B	3名の不登校児童についてはいずれも発達に課題があったり、家庭の不安定さが影響を及ぼしている。家庭児童相談室をはじめ外部機関と連携を図る等、保護者の支援を含めて落ち着いた学校生活となるよう柔軟な支援体制を心がけた。しかしながら、学校のできることに限り度があり、状況の改善にはなかなか至らない。それ以外の生徒指導については未然防止を心がけ、事案の発生は起こらなかった。

地域とともにある学校づくり	学校運営協議会・保護者との連携	A	ふるさと学習における地域講師との橋渡し等、学校運営協議会の委員様には学校教育の推進に大きな力を発揮いただいた。特に北っ子広場では運営協議会主催で音楽鑑賞会を企画いただいた。保護者の行事への参加率も高く、学校評価は肯定的な評価がほとんどである。
	地域人材の活用とふるさと教育	A	どの学年も地域の教育資源を生かした取組がしっかりできている。児童はたくさんの草山の魅力を発見・発信することができた。今後は既存の価値観だけでなくSDGsの視点を取り入れる等、新たな社会的価値観を導入して、ふるさとの新たな可能性や価値の発見に結びつけられるような学習に取り組んでいきたい。

#### 4 学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

- ・11月22日の研究会に参加したが、児童の課題をクリアするために設定した重点目標の「自分の考えを持つ」多くの方が参観していても「堂々と発表する」他者の意見から「自分の考えを深める」という様子が公開授業の中で垣間見えた。先生方の日頃の指導の賜である。目標は十分達成されていると感じた。

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・保護者として学校自己評価を見て有難いと感じている。我が子が外部の集会で自分の考えを発表したり意見する姿を見て、親としてびっくりするとともに感動した。これは学校でしっかりと力を付けていただいた成果である。
- ・親子の会話がSNSを通じて行われているという世間の風潮に危機感を感じる。保護者は子どもと面と向かって生の会話をしてほしい。小学校段階では保護者がいないと子に歯止めがなくなる実態もあるだろう。保護者が自身と子どもの情報機器のコントロールをすることが一番大切だと思う。

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が授業が分かりやすいと知っているポジティブな評価はとても驚異的である。少数の良さを生かし、工夫された指導がされている証である。先生方が努力されたことがよく分かる。</li> <li>・児童の発表の様子は、まったく物怖じしていないのが素晴らしい。発表するには「聞き方」も大切で聞く力もついていることが分かった。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校に関しては親の考え方もあり、家庭教育を優先されるという方針ならば、学校側がそこまで労力を払う必要は無いのではないかと感じた。</li> <li>・いろいろな考え方があることは分かったが、国民の三大義務のひとつである教育を受けさせる義務を果たしてほしいと思う。</li> <li>・動画を見る時間が長いと、動画から受ける情報量が多すぎて自分で考えることの低下や学習効率が下がることがいわれている。遅い時間までオンラインゲームをやっている実態もあるので、情報機器の使い方の取り決めをしっかりと守らせたい。</li> <li>・今後も引き続きデジタルデトックスを親子で取り組むように啓発していただきたい。</li> </ul>
地域とともにある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活発表会での各学級の発表を見て、地域の学習に取り組んで、地域の良さをしっかりと学んでくれていることが分かって嬉しかった。</li> <li>・大人も頑張らないといけないと思っている。学校と地域が連携を取りながら子どもたちの学習環境を整えていきたい。</li> </ul>